

「青少年の主張」発表大会並びに表彰式典では、中学生、高校生の若々しい発表はもちろんのこと、全国消防長会関東支部消防職員意見発表会で最優秀賞を受賞した消防職員の発表もあり、青少年の熱い提言、鋭い感性を感じられる発表となりました。

中学生の発表では、現代的な課題を多く取り入れて、社会情勢によく目を向けており、自身の生活と照らし合わせて主張が展開されました。

AI との関わりについての主張では、AI 絵師に負けないよう自分の絵を描き続けていこうという強い信念や、AI の仕事と人間の仕事を分けて考え、「コミュニケーションを大切にすることは人がやった方がよい。」という提言がありました。

また、食品ロス問題についての主張では、いろいろな食品ロス対策を紹介し、自分にできる対策の視点として「安心する」「満足する」ということを挙げ、自分なりに取り組んでいこうという内容でした。

その他に、「つるし雛に込めた思いにより伝統を伝えていく」という主張、ウクライナ侵攻に対して「自分たちができること」や平和を維持することの難しさ等の主張、「野生動物との共存」を提言する主張、自分が「ボランティアの意義に目覚めた」という主張、「性的少数派に対する差別問題」に対する主張、「闇バイトにひっかからないための方法」に関する主張等、それぞれが具体的な例を挙げて、理路整然と自分の主張を展開しており、中学生らしい瑞々しい感性に満ちた発表でした。

高校生の主張では、将来の大きな夢「純国産鶏卵の生産」を目指し、今、高等学校で専門的な学習をしており家業を継ぎたい、という頼もしい主張がされました。続いて、「ネット上の誹謗中傷の問題」についての主張では、デジタルネイティブ世代らしい切り口と共に、「私は見えない相手の意見を尊重する。」という言葉が心に残りました。緻密に構成された文面の端々に確たる信念が感じられる、高校生らしい頼もしい発表でした。

那珂市消防本部職員の主張では、自主防災訓練の中で地域の方々が真剣なまなざしで取り組む「絆を深める自主防災」についての、地域住民にとって重要な提言と示唆に富んだ主張が発表されました。続いて、コロナ禍でのタブレットによる救急講習会と、多様な運用による人命救助など、「これからの救命講習会」の実務に基づいた、救命の未来を見据えた主張が発表されました。来場者の方は、改めて市民の命を預かる消防の大切さ、有り難味を実感されたのではないのでしょうか。

当大会が、青少年が未来に向かって自信と誇りを持ち、より深く他者や社会との

関わりについて考える契機になること、あわせて、市民の方々が青少年の健全育成に対する理解と関心を高める機会となることを、心から願うものです。